

諫早市教育委員会会議録

平成28年第12回（11月定例）

平成28年第12回（11月定例）教育委員会

1 日 時 平成28年11月18日（金） 17時00分～18時00分

2 場 所 諫早市役所 7階 7-1会議室

3 出席者 委員長 緒方 正親
委 員 秀島 はるみ
委 員 大石 竜基
委 員 宮本 峻光
教育長 平野 博

4 会議に出席した事務職員

| | |
|----------|-------|
| 教育次長 | 井上 良二 |
| 教育総務課長 | 田島 正孝 |
| 学校教育課長 | 福元 英典 |
| 生涯学習課長 | 村川 美詠 |
| 諫早図書館副館長 | 相良 裕 |

5 議題

教育長の報告

報告第 8号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成28年度諫早市一般会計補正予算（第3号）」中、12款教育費））

会議録署名人の指名

緒方委員長と平野教育長を会議録署名人に指名

会議録の承認

- 平成28年第11回（10月定例）教育委員会の会議録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

1 教育長の報告

○森山図書館の部分開館について

8月の落雷による火災のため休館していた森山図書館が、多くのボランティア等の支援をいただいて11月4日に部分開館することができた。

火災発生場所の開架室棟から被災しなかった展示室棟へ書架等に移設し、和室を閲覧場所として臨時に開館したもので、開館を待ちわびた利用者を撮影取材しようと県下の報道機関も詰めかけた。当日は、森山西小学校4年生が授業を変更し、来館してくれたこともあり部分開館にふさわしい賑わいが見られ、新聞の1面を飾ることができた。部分開館から2週間が経過したが、現在は一日当たり約50名が利用している状況である。

完全復旧に向けて、12月市議会の一般会計補正予算案に森山図書館火災復旧事業の予算を計上している。森山図書館の完全復旧には、かなりの時間と予算及び労力を要するが全力をあげて努力したい。このあと、本日の教育委員会の議案でもある12月補正予算案について担当者から説明させる。

○長崎県都市教育長協議会について

11月14、15日に壱岐市で長崎県都市教育長協議会が開催された。会長市である長崎市教育長からは、全国都市教育長協議会理事会での協議事項について、本年度も財務省向けに教育関係団体連絡会名による「子供たち一人一人にきめ細かな教育を実現するための教職員定数改善等を求めるアピール」が採択されたとの報告があった。

また、県下13市の教育状況について、特に土曜授業とコミュニティスク

ールについて意見交換を行ったが、土曜授業については、県下で諫早市だけがほぼ全校で実施しているということもあり、諫早市の現状を話しながらの意見交換となった。翌日は一支国博物館、一支国王都復元公園等を視察した。

○12月定例市議会について

11月25日から定例市議会が開会する。本日は教育委員会が計上する補正予算案等について各担当課長等から説明させる。

《教育長の報告に対する質問・意見》 なし

2 教育次長の報告

○平成28年度一般会計款別内訳について

《教育次長の報告に対する質問・意見》 なし

《 議 事 》

1 報告第8号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成28年度諫早市一般会計補正予算（第3号）」中、12款教育費）

教育総務課長、生涯学習課長、諫早図書館副館長説明

[委員]

避雷設備設置工事を行うということだが、どのくらいの費用がかかるのか。

[委員長]

併せて、避雷設備の設置場所はどこに計画しているのか説明いただきたい。

[諫早図書館副館長]

設置場所については、今回は避雷針ではなく一番高い棟の屋根に導線をはわせる避雷設備の設置を考えている。費用については、3・4百万を見込んでいます。

[委員長]

一番高い棟というのは、今回、雷が落ちた部分になるのか。

[諫早図書館副館長]

屋根の高さはほぼ同じである。今回設置する避雷設備は、図書館の屋根全体にはわせるように設置する。

[委員]

森山図書館以外の公共施設への避雷設備の設置は考えていないのか。

[教育次長]

建築基準法では、20メートル以上の建物に設置するようになっている。
学校施設は、ほとんどが20メートル以下で設置義務はない。

[委員]

20メートル以上なければ設置しないということだが、事故が起これなければ対応しないという姿勢なのか。現に森山図書館は20メートルないにもかかわらず避雷設備を設置するのであれば、なぜここだけ設置するのかとなるのではないか。

[教育長]

学校施設への落雷はこれまでも経験がない。今回の場合は、一度落雷があった施設ということもあり避雷設備の設置を決めたところである。

[委員]

経費については、保険で対応できるのか。

[教育長]

現状復旧の経費については保険の対象となるが、避雷設備については新たに設置する設備であるため保険の対象にはならない。

了承

《教育総務課長の報告》

○平成28年度諫早市教育委員会表彰について

《学校教育課長の報告》

○平成28年度全国学力・学習状況調査、長崎県学力調査の諫早市の結果について

[委員]

小学校の図書館利用者(25.1%)と比べて、中学校の図書館利用者(16.7%)が減っている要因をどのように捉えているか。

[学校教育課長]

小学校は学習課程の中に図書時間が位置付けられている。週末等を考えても、中学校の部活動ほど拘束される時間も少ないことから、地域の図書館を利用する機会も多いことが要因と捉えている。

[委員]

「授業以外に2時間以上の学習をしている」という設問があるが、先ほどの説明では家庭学習と言われたが、塾の時間も含まれるのか。

[学校教育課長]

塾の時間は含まれていない。

[委員]

この設問は、月曜から金曜まで毎日2時間以上学習しているという捉え方でいいのか。

[学校教育課長]

その通りである。

[委員]

子どもによっては、2時間に満たない日が一日でもあれば、該当しないと回答する場合もあれば該当すると回答する場合もありえるのではないか。

[学校教育課長]

設問に対する子どもたちの捉え方の違いがあることは否定できない。

[委員]

一人で学習するよりも、人に話す、いわゆる出力した方が人はよく覚えると言われている。学校ではグループ学習などは行っているのか。

[学校教育課長]

今回の学習指導要領の改訂のキーワードのひとつに、アクティブラーニングというのがある。「深い学び」「主体的な学び」「対話的な学び」の3つの要素があり、対話的な学びについては、習得は出力することによってさらに深まるとされている。今後は、1時間の学習課程の中にペア学習やグループ学習を積極的に取り入れていく授業形態が主流になってくるとと思われる。

《生涯学習課長の報告》 なし

その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

18時00分閉会